

「みなしオアシス」の概要

○みなしオアシスとは

- ・地域住民の交流や観光の振興を通じた地域の活性化に資する「みなし」を核としたまちづくりを促進するため、平成15年に制度を設立
- ・国土交通省港湾局長が住民参加による地域振興の取り組みが継続的に行われる施設を登録するもの

○みなしオアシスの担う役割

- ・地域住民、観光客、クルーズ旅客等の交流及び休憩
- ・地域の観光及び交通に関する情報提供
- ・その他（災害時の支援、商業機能など）

○みなしオアシスの構成施設

- ・旅客ターミナル
- ・地元産品の物販飲食店
- ・文化交流施設など



標章
(シンボルマーク)

○みなしオアシスの設置者・運営者

- ・地方公共団体（港湾管理者含む）
- ・NPO団体、協議会など



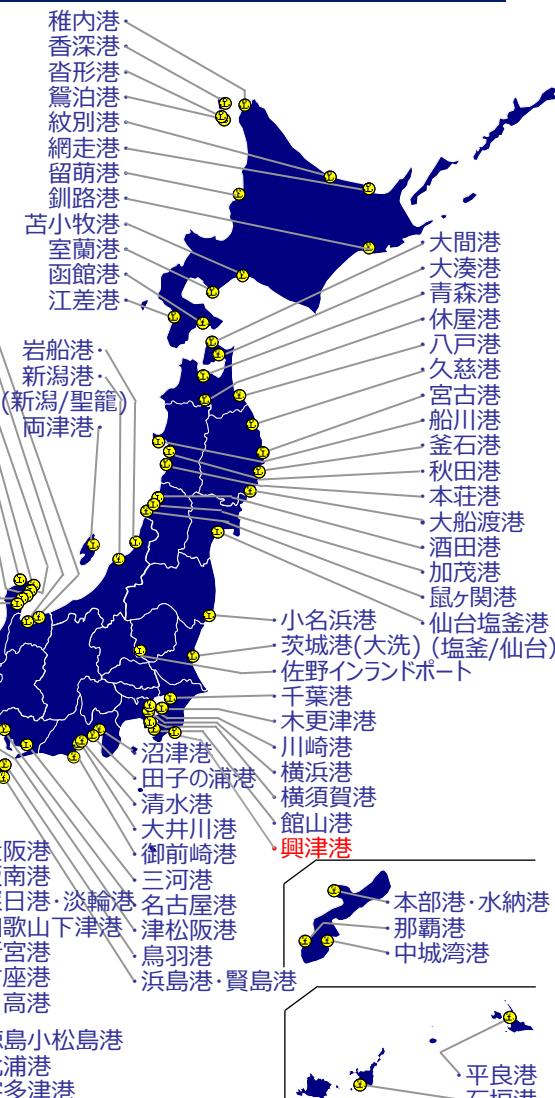
構成施設のイメージ



地域振興イベントの開催状況

瀬戸田港、福山港、尾道糸崎港（尾道/三原）、忠海港、竹原港、小用港、三高港、広島港、（宇品/坂）蒲刈港、厳島港、由宇港、安下庄港、徳山下松港（徳山/下松）、三田尻中関港、比田勝港、厳原港、郷ノ浦港、下関港、北九州港、大島港、唐津港、呼子港、福江港、長崎港、口ノ津港、別府港、大分港、津久見港、富岡港、牛深港、古江港、細島港、油津港、鹿児島港

みなしオアシス所在港湾の一覧



登録数 144箇所

（令和2年9月19日時点）